



一本松まちづくりひろば

15

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 米岡 美智枝

○■ 平成 25 年度 定期総会並びに第 1 回まちづくり検討会開催 ■○

去る 6 月 2 日(日)の 14 時から 16 時にかけて、西戸部二丁目第一自治会・羽沢西部自治会のまちづくり委員の他、地域住民の方、行政、支援団体の方々総勢 42 名ご出席のもと、25 年度定期総会及び第 1 回まちづくり検討会が行われました。

1 部総会では、1 号議案：平成 24 年度事業報告

2 号議案：平成 24 年度決算・会計監査報告

3 号議案：平成 25 年度事業計画

4 号議案：平成 25 年度予算

5 号議案：まちづくり委員・役員の確認

以上についてすべて承認可決されました。



**** まちづくりビジョン -今後のまちづくりについて- ****



第 2 部では、平成 25 年度の第 1 回目の検討会が実施され、横浜プランナーズネットワークの山路清貴前理事長と、株式会社汎綜合都市研究所・代表取締役佐藤光良氏より、「これまでのまちづくり」「これからの展望」についてご講演をいただきました。

まちづくり委員の名簿

羽 沢 西 部 自 治 会				西 戸 部 二 丁 目 第 一 自 治 会			
番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名	番号	氏 名
1	米岡 美智枝	11	萱沼 君子	1	杉山 邦彦	12	大島 綾子
2	河野 史明	12	酒井 保子	2	稲葉 高久	13	赤司 伊美子
3	芝山 帛子	13	村上 圭三	3	斎藤 明	14	豊島 千代子
4	田中 真理世	14	浅菜 喜久	4	高橋 宏	15	和田 和子
5	川島 明弘	15	大峽 洋一	5	奥山 孝	16	鈴木 美智子
6	八木下 美	16	川井 茂	6	井上 富義	17	西田 千寿子
7	川崎 義充	17	本郷 正義	7	横田 昭納	18	加藤 緑
8	粉川 尚人	18	早川 あい子	8	佐藤 謙司	19	近藤 和江
9	瀬戸 満知子	19	河村 正雄	9	金子 英治	20	薄井 光子
10	川村 美江	20		10	和田 哲郎	21	館石 若代
				11	塩原 憲一		

第二回 町内減災オリエンテーリング開催！

防災マップで



生活用水の井戸を確認。
(平成 21 年度事業)



行き止りがある 7m の町内
最高の擁壁を見上げる。



雨水利用の貯水井戸。
(平成 20 年度事業)

ポイントチェック！



入り口は 4m 道路に成るが、
この先は 3 本の狭い道路。



災害時に炊事が出来る「かま
どベンチ」



緊急時に使えるか注意
が必要な狭い道。



「この辺から階段が始まると安全ね」



坂道の消火栓が四角い事を確認。



消火栓の中身を確認。



スタート！



羽沢緑荷



一本松小学校図書室

ゴールは一本松小学校の図書室
歩いてきた道を地図上で確認、
危険と感じた所、安心を感じた
所に印をつけ、それぞれの感想
を出しあいました。



(区の助成で作成、平成 24 年度事業)

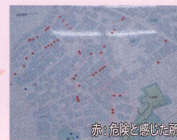


防災マップを
持って..

沢山の感想が寄せられました。(一部抜粋)

- 「狭い道、行き止まりが多い。行き止まりの階段・道路が多い」
- 「消火栓はいつでも使えるの？雨水タンクは満水だった」
- 「公園も安全とはいえない」「細い道は火災では逃げられない」
- 「雨水タンク設置場所に備わっている。消火栓を使って訓練したい。」
- 「防災マップにある消火栓が実際にはなかった。」
- 「行き止まりが多いので、大通り側にするのが安全。」
- 「カートを引き一本松小学校に行くには外周を通る。内部道は不可」
- 「ひくい方は危険なところがあると思う。逃げ方を考えて欲しい。」
- 「袋小路の行き当たりの 7m の擁壁(すこすぎる)。」
- 「行き止まりの道でイメージしたが逃げられなかったと思った。」
- 「急な坂道が多い、非常に怖い地域とわかった。」
- 「階段には手すりが必要」「階段の手すりが錆びていて危険」
- 「セットバックされてその先が行き止まりだと逃げ込めず危険。」
- 「表札を出していない家が多い。」

大澤氏「三角地付近に井戸があるとうまい。いざという時は庭を抜けて避難も。段差ははしごを設置。地図をよく頭に入れておく。」
小張氏「庭を横切る、段差ははしごを。子ども達とすることもある。結果を町内の方に伝えると良いと思う。」
鳥田氏「少しずつ広がっている。今後も参加してもらおうように。トランシーバーを使った訓練を積み重ねてゆきたい。」



赤：危険と感じた所



青：安心と感じた所

平成 25 年 7 月 28 日実施
西戸部 2-1: 12 名 羽沢西部: 13 名 横浜市: 2 名
西区: 3 名 コーディネーター: 1 名 合計: 31 名

一本松まちづくり協議会 平成 25 年度事業計画



改善整備された狭あい道路

①昨年度から継続して行う事業

- ★両自治会内の狭あい道路の改善・整備をめざします。
- ★現存する井戸の活用を考えて行きます。
- ★空き家の防犯防災上の危険性を考え解決をめざします。
(横浜市の空き家調査に協力します)
- ★新築の集合住宅の宅地内ゴミ集積所の設置を願ひ、住宅の建替時にセットバックの協力を願ひするよう努力します。
- ★防災まちづくり計画を実現する為に出来る事から事業化して行きます。

②先進事例の見学会を実施します。

防災まちづくりに取り組んでいる地域、団体を訪問し情報・意見交換をして、まちづくり協議会の活動の参考にして行きます。また他からの見学会・研修会も受入れて行きます。



初音森公園マンホールトイレ
平成20年3月見学会実施

③まちづくりニュースを発行し協議会の活動を広報して地域の防災意識の向上に努めます。

④減災・防災「研修会」「講演会」を開催します。

⑤井戸、かまどベンチなどの活用方法を検討し、今後の防災施設の設置及び維持管理を検討して行きます。災害時の生活用水の確保としての井戸の活用、炊き出し用に設置した西戸部公園のかまどベンチの活用を推進します。



第2回町内減災オリエンテーリング
で雨水タンクの説明を聞く参加者

⑥全戸配布した防災マップを使い「町内減災オリエンテーリング」を繰り返し開催し両自治会内の住民に地域の状況を知ってもらい、災害時の避難経路を複数例確認してもらうように周知します。

⑦平成25年度トランシーバー6台を西区の助成金を受けて購入し、運用マニュアル、平常時・非常時用の活用法を検討して行きます。トランシーバーの活用に地域住民も組込んで「まちづくりサポーター」を増やして行くように努めます。